

9年間を見通した家庭学習の取り組みについて

学年	時間	重点目標	その他のねらい		該当学年の家庭学習について	推奨
小学校 1年生	20分 以上	「家で学習する」 習慣を身に付ける	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の定着 ・ノートの使い方 ・丁寧な書字 	<p>(与えられたもの) 宿題</p> <p>徐々に比率を変えていくイメージ</p> <p>自分で設定した学習</p>	低学年では、家庭学習の習慣を身に付けることを目指します。1年生の最初は、与えられた課題である宿題が中心になりますが、少しずつ、自分でノートなどに学習することも取り入れていきます。宿題以外の学習に慣れていくことで、中学年以降の家庭学習がスムーズになります。	
2年生	30分 以上					
3年生	40分 以上	「自分で学習を 決めて取り組む」習慣を身に付ける	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の習慣化 ・学習内容の定着 ・学習方法を身に付ける 		中学年では、自分で学習内容を決めて学習する力を身に付けることを目指します。与えられた宿題がある場合はそれに加え、自分で、必要な学習に取り組めます。さらに、4年生では、どうしたら自分に身に付くのかを考え、工夫して学習することを目指します。	
4年生	50分 以上					
5年生	60分 以上	「自分で計画的 に学習する」習慣を身に付ける	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の習慣化 ・学習内容の定着 ・学習内容の設定 ・学習方法を工夫する 		高学年では、計画を立てて学習する習慣を身に付けることを目指します。自分に必要な学習内容を設定するとともに、自分に合った学習方法で学習をします。また、習い事など自分の家庭生活を踏まえ、1週間や2週間といった一定の時間の中で計画を立案できるようにします。さらに、6年生では、自分に合う計画立案や、学習方法を工夫しながら取り組んでいきます。	家庭学習計画表 (1週間程度)
6年生	70分 以上					
中学校 1年生	80分 以上	「見通しをもって、自分の課題 に合わせた学習に取り組む」習慣を身に付ける	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の習慣化 ・学習内容の定着 ・学習内容の設定 ・学習方法を工夫する ・計画の立案 	中学1・2年生では、小学生までの家庭学習を基盤とし、1ヵ月単位での見通しをもって、自分の課題に合わせた学習に取り組む習慣を身に付けることを目指します。自分の課題を見いだして、家庭学習の内容設定をするだけでなく、1ヵ月の学校生活や自分のライフスタイルを踏まえて見通して学習します。また、学習内容が定着しているかどうか、自分の計画が妥当だったかなどの自己分析を加えることで、より実のある家庭学習となることをめざします。	テスト前などの家庭学習計画表	
2年生	90分 以上					
3年生	100分 以上	「自己実現に向けて、自分の課題 に合った学習に工夫して取り組む」習慣を身に付ける	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の習慣化 ・学習内容の定着 ・学習内容の設定 ・学習方法を工夫する ・計画の立案 ・見通しをもった学習への取り組み 	中学校3年生は、これまでの家庭学習の集大成です。自分の進路等を見据え、自分に必要な学習や自分の課題に合った学習内容を設定し、見通しをもって工夫して取り組むことを目指します。自分に必要な学習を自分で考えたり、見通しをもったりと、自分で考えることを重視しています。中学卒業後を見据え、目の前の課題に自分で考えて解決したり、行動したりできるようになる力を身に付けるためにも、自分で考え、工夫し、分析しながら自分を高めていく学習を目指します。	受験までの家庭学習計画など	

学習習慣の定着、学習内容の定着、自分で考える力の向上

(中茶安別小中学校 教育目標 「2 深く考え、工夫する子ども」)

家庭学習の取り組みに関わる 保護者の方へのお願い(小学校)

家庭学習は、学校で学習したことをしっかりと身に付けるために、また、自ら学ぶ習慣を身に付けるためにとても大切なものです。小学生のうちに机に向かう習慣を身に付けることが後々の学習に大きな影響を与えることから、学校は家庭と連携して、しっかりと身に付けさせたいと考えます。

1.家庭学習のやり方

- (1)担任から出された「宿題」があれば、最初に「宿題」に取り組めます。
- (2)「家庭学習の手引き」の中から選んでやります。
- (3)勉強が終わったら、次の日の準備をします。

2.時間のめやす

学年 × 10分以上 + 10分

(1年生なら20分以上、6年生なら70分以上)



3.家庭学習における保護者の役割

(1)学習時間の確保

習い事、スポーツなど、子ども達もいろいろと忙しいと思いますが、短い時間でも「必ず机に向かう」習慣を身に付けさせましょう。「何時から何時まで勉強する」ということをご家庭でよく話し合っ
て、無理のないように時間設定をしてください。

(2)学ぶための環境づくり

例えば、テレビをつけながら勉強しても、効果は上がりません。お子さんが落ち着いた学習環境で
学習できるように、各家庭で工夫したり話し合ったりしてください。

また、学習する場所を決め、整理整頓をして学習に集中できる環境づくりをお願いします。

(3)学力アップは規則正しい生活から

「早寝、早起き、朝ご飯」という言葉をお聞きになったことがあるかと思います。生活リズムはと
ても大切なもので、この生活のリズムを整えることが学力向上につながることは、各種の調査でも明
らかになってきています。夜遅くまで勉強して睡眠時間が少ない子よりも7時間以上睡眠時間を確保
している子の方が成績がよいというデータもあるそうです。

(4)見届け・励まし

子どもが学習したことにできるだけ目を通し、声をかけてください。褒めたり、励ましたりするこ
とで、お子さんはどんどんやる気を出します。また、特に低学年では、お子さんの様子を把握しなが
ら、できるだけいっしょに取り組んでくださるようお願いいたします。

(5)学校との連携

- ◆お子さんの学習の様子・変化は、どんなに小さなことでも担任にお知らせください。
- ◆学習の内容、取り組み方に困った際なども、担任にお知らせください。

家庭学習の取り組みに関わる保護者の方へのお願い(中学校)

1.家庭学習のやり方

- (1) 教科担任から出された「宿題」があれば、最初に「宿題」に取り組みます。
- (2) 「めざせ！学力 up！家庭学習の基本」を参考にしながら、自分に必要な学習を行います。
- (3) 勉強が終わったら、次の日の準備をします。

2.時間のめやす

学年 × 10分以上 + 10分

(中学1年生なら「7年生」と計算し、80分以上となります)

3.家庭学習における保護者の方へお願いしたいこと

(1)学習時間の確保

習い事、同好会(部活)、少年団など、子ども達もいろいろと忙しいと思いますが、「毎日(短時間でも)机に向かう」習慣が身に付くように声掛けをお願いします。できるだけ決まった時間に取り組むことが望ましいです。

(2)学ぶための環境づくり

学習する場所を決め、整理整頓をして学習に集中できる環境づくりをするように声掛けをお願いします。また、学習する時には、スマートフォンをサイレントモードにしたり、画面を伏せて通知等が気にならないようにするなどの工夫も必要です。これらのことを意識し、見守ってください。

(3)学力アップは規則正しい生活から

「早寝、早起き、朝ご飯」という言葉をお聞きになったことがあるかと思います。生活リズムはとても大切なもので、この生活のリズムを整えることが学力向上につながることは、各種の調査でも明らかになってきています。

(4)学校との連携

お子さんの学習の様子・変化は、どんなに小さなことでも担任にお知らせください。学習の内容、取り組み方に困った際なども、担任にお知らせください。